

5 参考資料

1 「めざす子ども像」ワークショップ(研修)の展開例

A. 目的

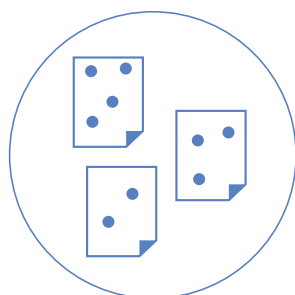
①子どもが社会・職業的自立を迎える時期をイメージして「めざす子ども像」を考える。

B. 展開例

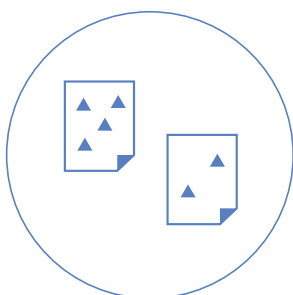
※あらかじめ、小中合同のチーム（1チームあたり4～5名が目安）をつくっておき、グループごとに着席する。

分間	テーマ	目的	内容	備品
5～	導入	1. 目的・流れ・ルールの共有	ワークショップの目的と流れ、ルールの共有を行う。	—
10～		2. 参加者の緊張を解き、話しやすい雰囲気をつくる	アイスブレイク(名前・所属や最近あったうれしいできごと、シヨックなできごとなどをテーマに自己紹介を行う。)を行う。 ※1人あたり1分間など、時間を決めて自己紹介を行うことで、決められた時間内に話し合いを進める雰囲気をつくるのがポイント。	<input type="checkbox"/> 白紙 <input type="checkbox"/> タイマー
60～	展開	3. 「(1)子どもの現状」「(2)子どもの背景」「(3)めざす子ども像」を考える	グループワーク (1)「子どもの現状」を考える ①気になる子どもの様子など「子どもの現状」について思うことを付箋に書いて一人ずつ発表する。 ②類似する意見をグループ化し、まとめる。【図A参照】(必要に応じて、全体で発表する) (2)「子どもの背景」を考える ①気になる子どもの背景にどんなことがあるか一人ずつ発表する。 ②類似する意見をグループ化し、まとめる。(必要に応じて、全体で発表する) (3)「めざす子ども像」を考える ①子どもが社会的・職業的自立を迎える時期(卒業して5年後、10年後の姿)をイメージし、「めざす子ども像」を一人ずつ発表する。 ②類似する意見をグループ化し、まとめる。	<input type="checkbox"/> 付箋 <input type="checkbox"/> 模造紙 <input type="checkbox"/> 太ペン <input type="checkbox"/> タイマー
15～			まとめ	4. ふりかえり、今後の検討

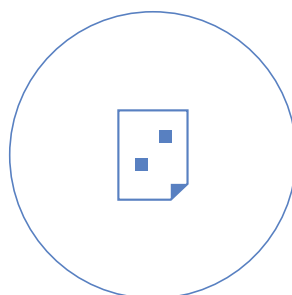
図A



グループ：●●



グループ：▲▲



グループ：■

2 「キャリア教育全体指導計画」ワークショップ(研修)の展開例

A. 目的

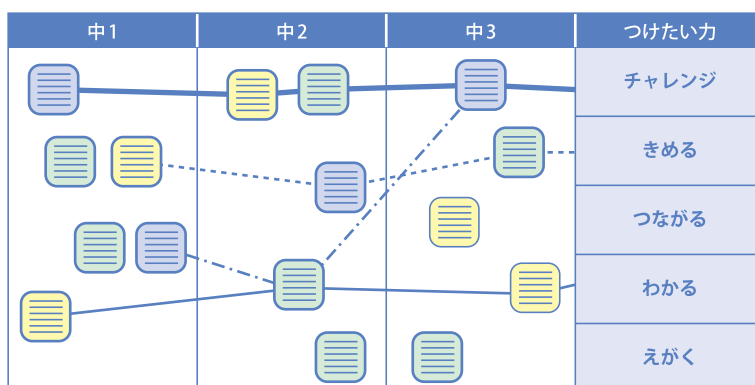
- ①子どもが社会・職業的自立を迎える時期をイメージして「つけたい力」を考え、関連する教育活動を整理する。
- ②発達段階のステージごとに「獲得目標」を設定する。

B. 展開例

※あらかじめ、小中合同のチーム（1チームあたり4～5名が目安）をつくっておき、グループごとに着席する。

分間	テーマ	目的	内容	備品
5～	導入	1. 目的・流れ・ルールの共有	ワークショップの目的と流れ、ルールの共有を行う。	—
10～		2. 参加者の緊張を解き、話しやすい雰囲気をつくる	アイスブレイク(チームメンバーの共通点をできるだけ多く考えて、チームごとに「共通点の数」や「ユニークな共通点」を発表する等)を行う。	<input type="checkbox"/> 白紙 <input type="checkbox"/> タイマー
25～	展開	3. 「つけたい力」を考える	グループワーク (1) 事前に考えた「子どもの現状」「子どもの背景」「めざす子ども像」をふまえ、子どもが社会的・職業的自立を迎える時期(卒業して5年後、10年後の姿)をイメージし、どんな力をつけたいか一人ひとりが付箋等を書いてアイデアを出し、チーム内で共有する。 (2) 「つけたい力」について、類似する意見をグループ化しまとめる。 全体 (3) 各チームでどんな意見が出たか発表する。 (4) 参加者全体で「つけたい力」をまとめる	<input type="checkbox"/> 付箋 <input type="checkbox"/> 模造紙 <input type="checkbox"/> 太ペン <input type="checkbox"/> タイマー
30～		4. 「つけたい力」に関連する取組みを整理する	全体 (1) 「つけたい力」に関連する教育活動を洗い出し、整理する。(類似する活動は関連性がわかるように線を引く等する)【図B参照】	
20～		5. ステージごとの「獲得目標」を考える	(1) 発達段階のステージ(例：①小学校低学年・中学年、②小学校高学年・中学1年生、③中学2・3年生等)ごとに獲得目標を考えるため、どのステージを担当するか、チーム分けをする。 (2) チームごとに獲得目標を考える。	
10～	まとめ	6. ふりかえり、今後の進め方や分担の検討	今回のワークショップについてふりかえりを行うとともに、これからの目標や課題、進め方等について話し合い、決定・共有する。	—

図B



3 | キャリア教育の参考資料

1



大阪府キャリア教育プログラム

大阪府教育委員会事務局 市町村教育室 児童生徒支援課
<http://www.pref.osaka.jp/jidoseitoshien/kyaria/index.html>

2



OSAKA 人権教育ABC Part4
-人権教育としてのキャリア教育-

大阪府教育センター 企画部 人権教育研究室
<http://www.osaka-c.ed.jp/sog/kankoubutu22/jinken-chapter2201.html>

5



小学校 キャリア教育の手引き

文部科学省
http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/career/detail/1312372.htm

6



中学校 キャリア教育の手引き

文部科学省
http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/career/detail/1312372.htm

4 | キャリア教育の関連機関

* 一般社団法人 キャリア教育コーディネーターネットワーク協議会



<http://www.human-edu.jp/>

3



夢や志をはぐくむ教育
(小学校版指導資料集)

大阪府教育委員会事務局 市町村教育室 小中学校課
<http://www.pref.osaka.jp/shochugakko/yume/index.html>

4



夢や志をはぐくむ教育
(中学校版指導資料集及び教師用指導書)

大阪府教育委員会事務局 市町村教育室 小中学校課
<http://www.pref.osaka.jp/shochugakko/yume/index.html>

7



キャリア教育を創る

国立教育政策研究所 生徒指導研究センター
http://www.nier.go.jp/shido/centerhp/23career_shiryout/23career_shiryout.html

8



キャリア教育のススメ

国立教育政策研究所 生徒指導研究センター

* NPO 法人 日本アントレプレナーシップアカデミー (JAE)

 <http://www.jae.or.jp/>



大阪府教育委員会事務局
Osaka Prefectural Government

市町村教育室 児童生徒支援課

〒540-8570 大阪市中央区大手前2丁目 TEL. 06 (6941) 0351 (代)



平成24年3月発行